

# 大規模多孔質場における反応輸送解析

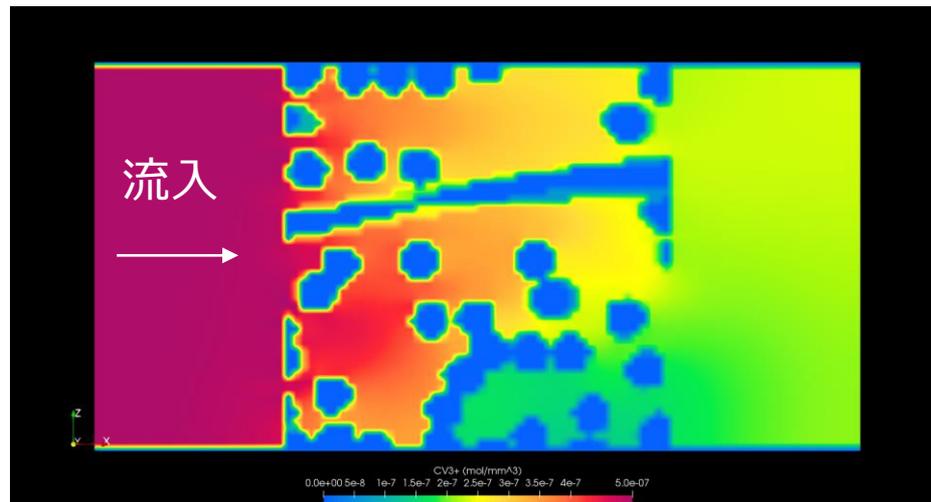
大阪大学大学院 工学研究科 機械工学専攻  
津島将司

**目的**：大規模多孔質場における反応輸送解析を対象とした格子ボルツマン法の適用可能性の検証

**内容**：大規模多孔質場における反応輸送解析を対象とした格子ボルツマン法解析を実施し，局所反応量ならびに反応生成物濃度の空間分布について検討を行った。

**結果**：大規模多孔質構造に依存して局所反応量と反応生成物の空間分布が形成されることを示し，流動場の制御による効果について検討を加えた。

**利用した計算機**：OCTOPUS（汎用CPUノード），36ノード時間，2 GB



大規模多孔質場における反応物濃度分布の解析結果